

1. 木質バイオマス関連情報

■巨額の補助金を受け設立した(株)丹後グリーンバイオ(京都)の経営者が次々と交代している件で、京丹後市議会産業建設常任委員会で質疑。同社は荒廃が進む森林整備や間伐材を活用したウッドチップの生産などを目的に国、府、市合わせて総額2億円以上の巨額の補助金を投入して設立された会社。委員会は8月19日、同社について市の対応をただし、市は経営には直接関与できないが、事業目標の達成状況をチェックする考えを示した【毎日新聞：2019/08/20】

<https://mainichi.jp/articles/20190820/ddl/k26/020/434000c>

■(株)生活クラブエナジー(東京)が、買取期間満了(卒FIT)を迎えた太陽光余剰電力を買取るサービスの受付を8月19日より開始。生活クラブエナジーは生活クラブ生協連合会(本部・東京、以下「生活クラブ」)の関連会社で、風力、太陽光、バイオマスといった再生可能エネルギー由来の電気を全国の生活クラブ提携産地で作って、生活クラブ組合員で共同購入する「生活クラブでんき」を運営。

2009年11月より開始された余剰電力買取制度は、太陽光発電で作られた電気が自宅での使用量を上回った場合、自宅での消費分を差し引いた余剰電力を電力会社が買い取る制度。開始から10年後の2019年11月以降買取期間が順次満了するため、今回のサービスを開始。同社は、このサービスを通じ再生可能エネルギーをさらに広めていくとしている【生活クラブ生協連合会：2019/08/19】

<https://www.seikatsuclub.coop/news/detail.html?NTC=1000000328>

■三菱商事(株)(東京)とマレーシアサラワク州の州立研究機関であるサラワク生物多様性センター(Sarawak Biodiversity Centre、以下「SBC」(マレーシア))が共同で同州に設立した熱帯環境下における世界最大級の藻類培養設備(1,000㎡)が、8月27日に開所式を開催。設備の設計・監修はバイオベンチャー企業群の「ちとせグループ」(神奈川)が実施。三菱商事とSBCは、2012年10月より現地の有用な藻類の収集&実用化を

目指したプロジェクトを開始。ちとせグループは、同プロジェクトにおける三菱商事の技術アドバイザーとして、2013年より現場におけるプロジェクト運営やSBC 研究員への技術指導を行ってきた。3次元型の培養設備は2018年11月に竣工。その後継続的に培養試験を行い、商業化の目処をたてた。同設備で培養した藻類をエビ養殖・孵化場へ提供し、飼料や水質調整剤としての活用も開始。ちとせグループは、今後も熱帯環境下における藻類培養設備のさらなる大規模化と培養の効率化・生産コストの削減を追求し、脱化石資源に向けた藻類バイオマス産業の構築を目指す【PR TIMES：2019/08/20】

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000004.000034251.html>

■(株)アクセスインターナショナル(東京)、持続可能な社会に向けた開発目標「SDGs」のさらなる普及に向け、次世代林業ライフ&ビジネス新メディア『FOREST JOURNAL(フォレストジャーナル)』のウェブサイトを開業。次世代につながる林業と森林づくりのために、最先端の林業テクノロジーや、地域活性化に向けた里山経営術、新しい働き方や森林経営の成功例などを、わかりやすく情報提供する。配信コンテンツとして、「林業者の取り組み」「イノベーション」「機械・ツール」「政策・マーケット」「エコ・地域づくり」の5つのカテゴリーに分け、森林にまつわる最新情報を定期的に発信する【JJI.COM:2019/08/20、フォレストジャーナル:2019/8月】

<https://www.jiji.com/jc/article?k=000000027.000004192&g=prt>

<https://forest-journal.jp/>

■紋別会場保安部らが8月20日、港湾地域にあるバイオマス発電所にバイオマス燃料を輸送してきた船舶が炎上したという想定で消火救助訓練を実施。紋別バイオマス発電(株)(北海道)が外国貨物船の火災発生を「118番」で海保へ通報し、現場へ急行した紋別市港湾課及び紋別救難所がオイルフェンスの展張を実施。紋別消防本部は船体消火、海中転落者の救助を

紋別海上保安部がそれぞれ連携して実施した。外国貨物船を使用した火災船対応訓練は全国初【OSR No.383：2019/08/21、紋別海上保安部：2019/08/26】

<https://www.kaiho.mlit.go.jp/01kanku/monbetsu/>

■総合マーケティングビジネスの(株)富士経済(東京)、再生可能エネルギー発電システム関連の国内市場について調査。その結果を「FIT・再生可能エネルギー発電関連システム・サービス市場／参入企業実態調査 2019」にまとめ。再生可能エネルギー国内市場全体の予測としては、2030年度は2017年度比47.9%減の1兆521億円となる見通し。バイオマス発電の2018年度の市場は、メタンガスや未利用木質(2,000kW未満)利用発電が2017年度を上回る一方、一般木質・農作物残さ利用発電システムが改正FIT法への対応や駆け込み認定案件に対する事後規制などを受けて停滞したため、市場全体では前年度を下回る見込み。今後は一般木質輸入材(主にPKS)を燃料とした認定案件の導入が、2020年度前半まで市場をけん引。中長期的にはFIT制度の対象となるバイオマス資源の見直しや入札制度の導入により、市場が縮小する見通し【電気新聞：2019/08/22、(株)富士経済：2019/07/29】

<https://www.denkishimbun.com/sp/43606&ct=ga>

[http://www.group.fuji-](http://www.group.fuji-keizai.co.jp/press/pdf/190729_19054.pdf)

[keizai.co.jp/press/pdf/190729_19054.pdf](http://www.group.fuji-keizai.co.jp/press/pdf/190729_19054.pdf)

■経産省の総合資源エネルギー調査会省エネルギー・新エネルギー分科会新エネルギー小委員会バイオマス持続可能性ワーキンググループが、8月22日に第4回会合を開催。バイオマス発電燃料の持続可能性に関する確認内容・手段に関するこれまでの検討で残された論点として、①副産物の発生地点の考え方、②サプライチェーンにおける確認の考え方、③国内で生産された「農作物の収穫に伴って生じるバイオマス」の確認方法について議論。また、検討してきた内容を制度として具体化させていくための論点として、①具体的にどの第三者認証を求めらるか(個別の第三者認証への適用)、②いつから持続可能性の確認を行うか(持続可能性確認の施行時期)についても議論。新たな制度の施行時期については、一定の猶予措置を設けることで一致。当日の資料等は下記サイトより閲覧可【経産省：2019/08/22、電気新聞：2019/08/23】

https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/shoene/shinenergy/biomass_sus_wg/004.html

<https://www.denkishimbun.com/archives/43636>

■(株)東京商工リサーチ(東京)、2018年「電力事業者」の新設法人調査の結果を公表。2018年(1~12月)に新設された法人12万8,610社(前年比2.7%減)のうち、電力事業者は1,733社(同12.9%減)。そのうち太陽光、ソーラーの新設法人は1,113社(同3.3%減)で、風力は234社(同25.4%減)、バイオは129社(同30.6%減)。2年ぶりの前年割れで、FIT導入以降の電力事業バブルの鈍化が鮮明に【(株)東京商工リサーチ：2019/08/23】

http://www.tsr-net.co.jp/news/analysis/20190823_01.html

■茨城県、鹿島臨海工業地帯にある奥野谷浜工業団地(茨城県神栖市)の県有地5万645㎡を神栖バイオマス発電所合同会社(東京)に売却へ。売却予定価格は13億1,679万円。8月30日に開会する県議会定例会に売却処分案を提出【茨城新聞：2019/08/24】

https://ibarakinews.jp/news/newsdetail.php?f_jun=15665608325290

■佐賀県佐賀市、2014年に策定した「バイオマス産業都市構想」を具体化する6つの事業のうち、3つについて内容を見直した上で2023年度まで5年間延長すると表明。2018年度までだったが「事業者のニーズがあり、継続の必要性がある」としている。市が当初、投資分をCO₂販売収入で賄うとし、収入が伸び悩んでいる「市清掃工場CO₂分離回収事業」も継続事業に含まれ、市議会バイオマス産業都市調査特別委員会の委員からは先行きを懸念する声も。このほか延長する事業は、下水浄化センターでのエネルギー創出と、微生物類培養による食品や化粧品などの原料としての利用や燃料製造事業。木質バイオマスに関しては重油に代わるものとして活用する研究は取りやめるが、発電利用を検討する【佐賀新聞 LIVE：2019/08/27】

<https://www.saga-s.co.jp/articles/-/418544>

■エフビットコミュニケーションズ(株)(京都)、高知県本山町の「農業クラスター推進事業」の公募型プロポーザル対象者として選定され、協定を締結(8月6日)。事業の実施に向け、企画から建設・管理運営まで同社と町が協業して推進する。さらに9月12日には高知県および本山町との間で進出協定も締結。同社は施設規模1.2haの次世代型ハウスと出力2MW規模

の木質バイオマス発電設備を建設し、発電所から次世代型ハウスへCO₂、電力、暖房用温湯の3つを供給するトリジェネレーションを実現する。次世代型ハウスではパブリカを栽培。2021年2月完成予定。バイオマス発電所は木質チップ等を燃料とし、発電した電力は自家消費や次世代型ハウスで利用するほか、FITを利用して売電する。2021年5月完成予定【OSR No.384：2019/08/28、メガソーラービジネス：2019/09/17、エフビットコミュニケーションズ（株）：2019/08/06、2019/08/19、2019/09/12】

<https://project.nikkeibp.co.jp/ms/atcl/19/news/00001/00231/?ST=msb>

<https://www.fbit.co.jp/category/news-parent/news>

■岡山県真庭市、バイオマス発電のエネルギー源として現在主力の針葉樹の間伐材に加えて、近く広葉樹も活用する計画を明らかに。燃料の供給量が大きく増えて発電量増加に伴う事業拡大が期待されるだけでなく、広葉樹の伐採促進による森林の荒廃防止や適正管理にもつながるといふ。市の森林面積6.5万haのうち、クヌギやナラなどの広葉樹林は2.2万haと3割以上を占める。広葉樹を安定的に調達するための第一歩として市は、森林所有者が作業道を開設する際、伐採面積20万円/haを補助する制度を新設。経費を盛り込んだ2019年度一般会計補正予算案を9月3日開会の定例市議会に提案する。事業費200万円。財源は、国が9月から森林整備名目で自治体に配る環境譲与税【山陽新聞：2019/08/29】

<https://www.sanyonews.jp/article/933309>

■バンブーエナジー（株）（熊本）、国内初の竹によるORC熱電併給設備を備えたバイオマスプラントを熊本県南関町のバンブーグループ敷地内に完成させたと発表。同社はNEDO（神奈川）の「バイオマスエネルギーの地域自立システム化実証事業」において、2015年10月から約1年間、FIT等に頼らないことを念頭においた、竹の新素材加工工場に併設したバイオマスの熱・電併給カスケード利用によるバイオマスエネルギー地域自立システムの実現可能性の検討を実施。2017年1月からは実証フェーズに移行し、システムの設計や必要となる設備などの検討を進め、バイオマスプラントを完成。各地域で荒廃が進み保全が課題となっている竹と、有効利用が課題となっているパークを原料に用いて、バイオマス燃焼炉とORC熱電併給設備で熱・電気を作り出し、隣接する同じ竹材を材料とする製品加工

工場で最大限活用する。約8,750t/年の竹を利用する計画で、電気出力は995kW、熱出力は6,795kW（竹加工工場への熱媒油供給2,800kW、温水供給3,995kW）。今後は試運転を行い、2019年10月より本格的に実証運転を開始する予定【NEDO：2019/08/29】

https://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_101181.html

■林野庁、平成30年における木質バイオマスエネルギーとして利用された木材チップの量について調査・取りまとめを行った結果（速報）を公表。林野庁は木質バイオマスエネルギー利用している発電機及びボイラを有する事業所を対象として、事業所の概要、利用した設備の動向、公的補助の活用状況、利用した木質バイオマス量について調査。対象とした全国1,484事業所のうち、1,425事業所が回答（回答率96%）。平成30年にエネルギー利用された木材チップの量は全体で930.4万t（対前年比106.6%）、このうち間伐材・林地残材等に由来するものは274.5万t（対前年比104.2%）。「製材等残材」に由来する木材チップは180.8万t（前年から30.7万tの増加）、「建設資材廃棄物」に由来する木材チップは411万t（前年から1.6万tの減少）となった。調査結果のうち、利用量（確定値）、利用した事業所の概要及び利用した設備の利用動向等については本年12月に公表する予定【林野庁：2019/08/30】

http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/riyou/190830_9.html

■林野庁、民間団体に対する林野庁補助事業第2回公募分の公募結果を公表。公募していたのは「木材需要の創出・輸出力強化対策のうち『地域内エコシステム』構築事業のうち『地域内エコシステム』技術開発・実証事業」。今回の補助金交付候補者は、長崎県森林組合連合会（長崎）と、小型流動床バイオマス燃焼炉等の設計・研究開発等を行っているADMIEXCOエンジン設計（株）（茨城）の二者【林野庁：2019/8月】

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/supply/hojyo/index.html>

■環境省、7月に公募していた地域におけるESG金融促進事業に係る支援先機関（1次公募）を決定したと発表。そのうちバイオマス関連は（株）鹿児島銀行の「バイオマス発電による地域課題解決とエネルギーの地産地消モデル構築事業」。畜産が主要産業の鹿児島県肝付町で大きな地域課題となっている畜産ふん尿をバイオマス発電の原料にして、エネルギー地産地消の実現や、発電蒸気を活用する食品加工業誘致につなげる構想。

肝付町や同町の地域新電力と連携し、(株)IH(東京)の技術協力を得ることを想定。同行にはコスト試算など収益性を評価するノウハウの蓄積がないため、環境省が委託する三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)(東京)が専門的見地から同事業の収益性などを調査し、鹿児島銀が融資判断に役立てる。事業が実現すれば、鹿児島銀は「肝付町モデル」として営業エリア内での横展開を目ざし、本業を通じた地域課題の解決につなげる【日本経済新聞：2019/09/03、環境省：2019/09/02】

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO49363150T00C19A9LX0000/?ct=ga>

<https://www.env.go.jp/press/107169.html>

■NEDO(神奈川)のバイオマスエネルギーの地域自立システム化実証事業で、昭和化学工業(株)(本社・東京)が熱風炉設備を備えた木質バイオマス熱供給プラントを同社岡山工場(岡山県真庭市)の敷地内に完成。同社はNEDOのプロジェクトとして、以前よりバイオマス利用が盛んな地元地域で産出される木の皮などの余剰木質バイオマスを燃料とし、生成した熱を同社の珪藻土製品の製造・乾燥工程に利用するシステムの実現可能性の検討を2015年4月から1年半実施。2017年1月からは実証フェーズに移行し、システムの設計や必要となる設備などの具体的な検討を進めてプラントを完成。プラントを既存の液化天然ガス(LNG)を燃料とする熱供給プラントに併設し、燃料の価格や調達状況などの変動に応じて、最適な比率で併用することで、安定的かつ経済性の高いハイブリッド運転を目指す。バイオマス燃料は地元の真庭市を中心に、鳥取県西部地域、中部地域から木の皮などの余剰木質バイオマスを調達し、24t/日の規模で消費する予定。バイオマス熱風炉は最大2,050kWで、500°Cの高温空気を供給する。今後試運転を経て2019年9月中旬から2020年度末まで実証運転を実施。NEDO事業終了後には昭和化学工業による自主研究運転を2023年秋まで実施する予定【昭和化学工業(株)：2019/09/04】

https://www.showa-chemical.co.jp/news/94_1.pdf

■(株)エコアドバンスジャパン(東京)、燃料に植物油である「ポンガミア」を使用してディーゼルエンジン式発電機の動作実験を実施(8月28日)。FITバイオマス発電の需要が低迷する中、オフグリッドでの発電需要を見越して行ったもの。同発電設備では数種類の植物油で動作確認するとして、既にジャトロファ、パーム油等でも実験。今回実験を行った「ポンガミア」

の特長は多少の毒性がある事から動物や人間の食糧に向かないとされており、又ヘクタールあたりの収量が約10Tと言われ、バイオマス燃料としては最有力候補となっている。動作実験では(1)ポンガミアでディーゼルエンジンが動く事の確認並びに、(2)所定の電圧、(3)出力、(4)燃料消費量、(5)収納しているコンテナの外部1m点での騒音、(6)同100m離れた場所での騒音を計測する【朝日新聞：2019/09/04】

https://www.asahi.com/and/M/pressrelease/pre_5245115/

■ベトナム、再生エネルギーの生産量拡大を強化し、発電量全体に占める割合を2015年の35%から2020年に38%、2050年には43%へ。再生エネの生産量では2015年の580億kWhから2020年に1,010億kWh、2030年に1,860億kWh、2050年に4,520億kWhと、段階的に引き上げていく。調査によるとベトナムでは2030年までに太陽光発電で3,500MW、バイオマス発電で3,000MW、小規模水力発電により約8,000MWの発電が可能なが分かったが、既に2018年末までに8つの太陽光発電施設(総生産量243MW)と10基のバイオマス発電所(同212MW)に加え、小水力発電所285カ所(同3,322MW)を実現している。ベトナム商工省電力・再生可能エネルギー局のド・ドック・クアン副局長は「再生可能エネルギーの開発を促進するため、固定価格買い取り制度など各種メカニズムに関する提案を政府に提出した」と述べた一方で、再生可能エネルギーの急速な成長は、高い投資コストや電力送電網インフラの整備、土地の需要など、いくつかの課題も生み出していると指摘【SankeiBiz：2019/09/05】

<http://www.sankeibiz.jp/macro/news/190905/mcb1909050500010-n1.htm>

■パシフィコ横浜(神奈川)、循環型エコシステムの取り組みを2019年8月1日より開始。全施設内で排出した食品廃棄物を、JFEエンジニアリング(株)(東京)のグループ企業であるJ&T環境(株)(神奈川)が電池交換型EVパッカー車で収集・運搬。(株)Jバイオフーズリサイクル(神奈川)のリサイクル工場でメタン発酵し、発電した電力をアーバンエナジー(株)(神奈川)が買い取り、廃棄物の量に応じて電力料金を割り引く『創電割(そうでんわり)(R)』により、パシフィコ横浜が管理する臨港パークに電力を供給する。契約電力は55kWで、食品廃棄物排出量は約20t/年(予定)。食品廃棄物からの発電量により、電力使用量約8,700kWh相当(契約電力の約4%)を賄

う。発電した電力は EV パッカー車の充電の一部にも活用する
【パシフィコ横浜：2019/09/05】

<https://www.pacifico.co.jp/pacifico/press/release/tabid/341/Default.aspx?itemid=761&dispmid=926>

■農水省、2020 年度予算概算要求の概要を公表。前年度 18% 増の 2 兆 7,307 億円を要求。バイオマス・再生可能エネルギー導入の推進に関しては、前年度の 7 億 8,800 万円から約 2.3 倍となる、18 億 1,100 万円を計上。再生可能エネルギーによるメリットを農山漁村の発展に活用する取り組みの実証や、バイオマスを活用した産業化等に必要な施設整備等を支援する。バイオマス・再生可能エネルギー導入推進事業は「持続可能な循環資源活用総合対策事業」「食料産業・6 次産業化交付金」「農林水産分野における持続可能なプラスチック利用対策事業」の 3 つを柱に推進する。「バイオマス産業を軸とした環境にやさしく災害に強いまち・むらづくり」に関する取り組みや、畜産バイオマスプラント等の導入、バイオマス産業都市構想実現のための取り組み等を支援する。同省は再エネ導入やバイオマス等について、「2023 年までに再生可能エネルギーに係る経済規模を 600 億円に拡大」、「2025 年までにバイオマス産業都市における産業規模を 400 億円に拡大」といった政策目標を掲げている【環境ビジネスオンライン：2019/09/05、農水省：2019/08/27】

<https://www.kankyo-business.jp/news/023046.php>

<http://www.maff.go.jp/j/budget/index.html>

■ヴァイサラ（株）（東京）、世界初となる、バイオガス精製の過酷な環境下においてメタン（CH₄）、二酸化炭素（CO₂）、水蒸気（H₂O）の 3 項目をガス配管に直接取り付けて計測するコンパクトなスタンドアロン型プローブ、「MGP261 メタン・CO₂・水蒸気マルチガスプローブ」を販売開始。正確で安定したメタン計測を提供するため、バイオガスプラントの事業者がプロセスを包括的に制御し、CHP の性能を最適化することに貢献。また、CHP とプロセス構成品の摩耗を削減、活性炭フィルタにおける水分管理をするため、水蒸気の制御が可能に。価格はオープン価格[ヴァイサラ（株）：2019/09/05]

<https://www.vaisala.com/ja/press-releases/2019-09/vaisala-mgp261>

■京都府舞鶴市の舞鶴港で、大量の温室効果ガス排出が問題視

されているパーム油を燃料に用いた発電所の建設計画を、京都府が後押し。輸入パーム油は原料となるアブラヤシ栽培のため、東南アジアなどで熱帯雨林が伐採されるとともに、伐採後の土壌から温室効果ガスが大量に排出されるため、「再生可能エネルギーとして位置付けるべきでない」と識者が指摘している。府は専門家の指摘は認識しているとした上で、パーム油は FIT の対象であり、「国の基準に基づき、同様に扱っている」と説明。舞鶴市とともに発電事業実施の意向を持った民間企業に対し建設用地の紹介や、発電所設置が可能となるよう港湾計画で定められた土地利用計画の変更をするなどし、支援。今回の計画とは別にパーム油を含むバイオマス発電所の立地促進を掲げており、京都議定書発行の地として地球温暖化対策に逆行する計画を支援する府の姿勢が問われている【京都民報 web：2019/09/07】

<https://www.kyoto-minpo.net/archives/2019/09/07/post-23795.php>

■JFE エンジニアリング（株）（東京）ドイツ子会社スタンダードケッセル・バウムガルテ社（以下「SBG 社」）が、イーウッド・エナジーセントラール社（以下「イーウッド社」）より、建築廃材を燃料に発電するバイオマス発電プラントの設計・建設・試運転をフルターンキーで受注。イーウッド社は、欧州の 31 施設で廃棄物処理事業を行っているインダヴェア社（ベルギー）と環境事業で世界的大手のスエズ社（フランス）が共同出資して設立した特別目的事業体。プラントはベルギー国ベフェレン市で建設され、1 炉で 449t/日の木質建築廃材を処理し、発電出力は 20,000kW、86t/h の高圧蒸気を生成。工期は 2019 年 9 月～2022 年 2 月。受注金額は約 100 億円【JFE エンジニアリング（株）：2019/09/11】

<http://www.jfe-eng.co.jp/news/2019/20190911120548.html>

■山形県上山市のバイオマス発電施設で 2 月に起きた爆発事故について、原因を調べていた産業技術総合研究所（茨城、以下「産総研」）が調査結果をまとめ。施設の設計・施工と試運転を担っていたテスナエナジー（株）（東京）と運営の山形バイオマスエネルギー（株）（山形）が住民の要請を受け、産総研に調査を依頼。産総研は事故原因として、配管内の酸素の追い出しが不十分なまま発電エンジンを起動させたことでエンジンの火がタンク側に逆流する「逆火」が起きたとみられ、逆火防止装置が十分機能しなかったことで爆発した可能性があるとした。

テスナ社が4月に中間報告で示した内容と同様だが、その上で緊急時を含む操作マニュアルが不完全で、配管に酸素濃度計がなく、逆火防止装置の性能も十分ではなかったとし「可燃性気体に関する危機意識や知識が不十分。(作業員の)教育指導の徹底が必要」と指摘。テスナ社らは調査結果を受け、タンクを従来の半分の容量に小型化し横向きにする、半地下構造にして安全柵を設置する等の安全対策案を地元関係者に提示【山形新聞；2019/09/12】

https://www.yamagata-np.jp/news/201909/12/kj_2019091200222.php

■DOWA エコシステム(株)(東京)子会社のバイオディーゼル岡山(株)(岡山)が、2019年9月10日付で一般廃棄物処理施設の設置許可を取得し、食品廃棄物を原料とするバイオマス発電施設の建設を開始。バイオディーゼル岡山は、岡山市と連携して廃食用油を原料としたバイオディーゼル燃料を2009年から製造・販売。2019年8月末時点で累計販売量は約5,200kℓにのぼる。食品廃棄物の有効利用をさらに進めるため、約16,000t/年(45t/日)受け入れてメタン発酵を用いたバイオマス発電を行う。発電容量は910kW、約1,600世帯の年間電力使用量に相当する発電と売電を行う計画。2019年9月から建設を開始し、2021年4月操業開始予定【DOWA エコシステム(株)：2019/09/12】

https://www.dowa-eco.co.jp/release/20190912_1661.html

■環境省中央環境審議会循環型社会部会が、9月12日に都内で第30回会合を開き、第五次環境基本計画の点検の進め方等について議論。第五次環境基本計画の点検分野である地域のバイオマス資源の活用について委員から「再生主力電源化は重要で、バイオマス資源もポテンシャルがあると考えている」が、FITからの自立もあわせて進めていくべきとの指摘も。また別の委員からは、循環型社会の形成は気候変動や生物多様性とも密接にかかわっていることから、他の計画と関連付けながら点検を進めていくべきとの意見が挙げられた。第1回点検は2019年度から2020年度にかけて行う(第2回は2021年度から2022年度)ことになっており、総合政策部会により2020年度夏頃に実施される全体的な点検(中間的な点検)に向け、2019年度内をめぐって点検結果を取りまとめ、報告する予定【環境ビジネスオンライン：2019/09/13、環境省：2019/09/12】

<https://www.kankyo-business.jp/news/023101.php>

https://www.env.go.jp/council/03recycle/post_162.html

■(株)ダイセン(愛知)、バイオマス発電所から発生する木質灰のリサイクル事業で全国展開を開始。すでに愛知県と山梨県で事業をスタート。年内をめどに青森県で専用プラントを稼働する計画【中部経済新聞：2019/09/16】

https://www.chukei-news.co.jp/news/2019/09/16/OK0001909160101_01/

■住友重機械工業(株)(東京)、日鉄エンジニアリング(株)(東京)より広畑バイオマス発電(株)(大阪)向け75MW級バイオマス発電用ボイラを受注。広畑バイオマス発電所の建設予定地は兵庫県姫路市広畑区。ボイラは木質チップを主燃料とし、再熱方式を採用した高効率なバイオマス専焼循環流動層(CFB)ボイラ。蒸発量は245t/h。2023年8月運転開始予定【住友重機械工業(株)：2019/09/17】

<http://www.shi.co.jp/info/2019/6kgpsq0000009y10.html>

■タイ工業省のサトウキビ・砂糖委員会事務局(OCSEB)は、バイオマス発電所の燃料としてサトウキビの葉の再利用を促す方針。これまで焼却処分されていた葉に商業価値を持たせ、焼き畑の撲滅と農家の収入拡大につなげる【NNA ASIA：2019/09/18】

<https://www.nna.jp/news/show/1951539>

■埼玉県、寄居町に整備した彩の国資源循環工場第Ⅱ期事業地内でオリックス資源循環(株)(東京)が廃棄物系バイオマスによるバイオガス発電事業を開始すると発表(9月13日)。同事業では、家庭や事業所から発生する食品廃棄物、紙ごみ、草木類等を受入れ(100t/日)、機械式選別装置により効率的にバイオマスを分別する。分別したバイオマスを国内では最大規模となる乾式メタン発酵槽で処理し、発生したバイオガスを燃料として発電を行う。設備容量は1.6MW、年間発電量は一般家庭約3,140世帯分の年間消費電力に相当する約980万kWh。事業開始に向け、同社と県、寄居町、小川町、地域住民との間で独自の環境基準、住民による監視活動などを定めた「彩の国資源循環工場運営協定」を9月19日に締結。2020年1月に着工、2021年秋に竣工し、稼働開始予定【環境ビジネスオンライン：2019/09/18、オリックス資源循環(株)：2019/09/19、埼玉県：2019/09/13】

<https://www.kankyo-business.jp/news/023116.php>

https://www.orix.co.jp/grp/company/newsroom/newsrelease/190919_ORIXG.html

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0001/news/page/2019/0913-08.html>

■漁業を基幹産業とする北海道寿都町、12月～来年1月をめどに町有地に農業用ハウスを建設し、バジルの試験栽培に着手へ。暖房や温度管理には、木質バイオマスや風力発電による再生可能エネルギーを用い、さまざまな機器を通信でつなぐモノのインターネット（IoT）も活用。栽培面の技術支援は施設園芸設備などを扱うグリーンリバーホールディングス（株）（福岡）が行い、管理と運営はニセコ環境（株）（北海道）に委託。事業費は約1億5,300万円で、生産量や採算性を把握してハウスを増設する【北海道新聞：2019/09/19】

<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/346199/>

■経産省、9月19日にFITの抜本的な見直しなどを検討する有識者会議として、新たに「再生可能エネルギー主力電源化制度改革小委員会」を設置し、第1回目の会合を開催。同省はこれまで再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会の場でFITの抜本見直しを検討。今年8月にまとめた中間整理では、メガソーラー（大規模太陽光発電所）や風力発電

などの「競争電源」と、地域で活用される「地域活用電源」の2タイプに分け、前者は市場統合型の新制度に移行し、後者については今後もFITの基本的な枠組みを維持する、としていた。委員会はこれを受けた形で、これまでの有識者会の資料等で「参考」として紹介してきた「フィード・イン・プレミアム（FIP＝Feed in Premium）」を新制度のベースとして正式に位置づけ。FIPとは、現行FITのように事前に長期の買取単価を固定せず、卸電力市場のスポット価格にプレミアム（上乗せ額）を加えて決める仕組み。欧州などで採用例がある。また中間整理では競争電源については入札制度の採用を提言しており、今回の事務局案でも「新制度においても入札制度を積極的に活用する」としている。今後はFIPと入札に関する詳細な制度設計とともに、「地域活用電源」の定義を巡る議論の活発化が予想される【環境ビジネスオンライン：2019/09/20、経産省資源エネルギー庁：2019/09/19】

<https://project.nikkeibp.co.jp/ms/atcl/19/news/00001/00243/?ST=msb&P=1>

https://www.enecho.meti.go.jp/committee/council/basic_policy_subcommittee/saiene_shuryoku/001/

※OSR：バイオマス・再可エネ等の専門情報誌「オンサイト・レポート」の略

2. ペレット関連情報

■（株）レノバ（東京）、8月28日に仙台市環境影響評価条例に基づき、「（仮称）仙台バイオマス発電事業環境影響評価準備書」、これを要約した「要約書」、及び事前調査書を仙台市に提出したと発表。これを受けて仙台市より準備書等の縦覧が開始。これによると、仙台バイオマスは2020年12月頃着工し、2023年9月頃運転を開始する予定。発電容量は7万4,950kW、年間発電量は約13万世帯分に当たる5億3,000万kWh。発電全量をFITに基づき、東北電力に売電する計画。9月8日に仙台市と多賀城市で開催した住民説明会では、併せて約140人の住民らが出席。レノバの担当者が発電に伴う硫酸化物や窒素酸化物の排出ガスは、大気汚染防止法の上限を大幅に下回ること、蒲生干潟への影響を回避するため、排水は下水に放流することを説明。燃料は大部分を北米や東南アジアの木質ペレットやPKSで賄い、県産木質チップも使

う。燃料になる県産木材は不足気味で、林業関係者に供給増を働き掛けていると明かした。出席者からは隣接地に東日本大震災の犠牲者の慰霊碑がある点や輸入燃料問題の指摘、大気汚染への懸念といった反対意見が相次いだ【（株）レノバ：2019/08/28、河北新報：2019/08/29、2019/09/10】

https://www.renovainc.com/cms/renova/news/2019/20190828_01_PRESS.pdf

https://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201908/20190829_13023.html

https://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201909/20190910_13023.html

■林野庁、平成30年における木質ペレットの生産動向について取りまとめ、公表。平成30年における木質ペレットの生産

量は 13.1 万 t で、前年から 0.5 万 t 増加（前年比 3.8% 増）。工場数は、富山県、宮崎県等 7 道県で計 9 工場増加する一方で、新潟県、大阪府で計 2 工場減少し、前年比 7 工場増の 154 工場に。用途別に見ると燃料用としての生産がほとんどを占め、12.6 万 t（構成比 96.1%）。原料入手別では製材工場等残材からの生産が 6.7 万 t（構成比 50.7%）、丸太・林地残材からの生産が 4.0 万 t（構成比 30.7%）、建設発生木材が 2.2 万 t（構成比 16.6%）となっている。一方、平成 30 年のペレットの輸入量は前年比 109% 増の 106 万 t で、主にカナダ、ベトナムからの輸入が増加。国産ペレットは生産量が増加していたが、自給率では前年比 9.0 ポイント減の 11.0% と過去最低に。資料は下記サイトより閲覧可【林野庁：2019/08/30】

http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/riyou/190830_10.html

■市民運動全国センター代表世話人の須田春海氏が、7 月 11 日に急性腎不全のため逝去（享年 77 歳）。長年にわたり日本の市民運動を牽引し、多くの市民団体や活動家の相談役としても活躍した。関係者らが 10 月 9 日に「須田春海さんを偲び遺志を受け継ぐ会」を開催する予定【朝日新聞：2019/08/31】

<https://www.asahi.com/articles/DA3S14160199.html>

※ペレットクラブ設立にご助力いただき、長年にわたって当団体顧問としてご尽力いただきました。須田さんのご冥福を、心よりお祈り申し上げます

■丸紅火力（株）（東京）と中部電力（株）（愛知）が京都府宮津市にある日本冶金工業（株）大江山製造所の敷地内にバイオマス発電所の建設を検討中。市によると計画では出力は約 5 万 kW。国内外の間伐材を利用した木質ペレット約 95%、PKS 約 5% が燃料。FIT 認定を受けているといい、20 年間関西電力（株）

（大阪）に売電する計画。2020 年に着工、2022 年に操業とするが、環境調査などによってずれ込む見通し。市によると、7 月初旬頃三社から相談があった。地元自治会にも説明があり、市は市議会各会派にすでに報告。しかし丸紅火力の親会社の丸紅広報部や中部電力広報室は「検討中」としている【京都新聞：2019/08/31】

<https://www.kyoto-np.co.jp/top/article/20190831000086&ct=ga>

■宮城県南三陸町に、東大大学院修士号をもつ「林業女子」が移住し、町の特産品である杉の残材を利用した木質ペレットによるバイオマスエネルギー事業育成の中核となって活躍。話題の人は佐野薫さん（29）。昨年末、町内の「未利用資源の活用」を目的とし、林業・運送業・土木建築業を専門とする三社で構成される合同会社 MMR の事業企画推進を担当する南三陸町地域おこし協力隊員に就任。現在木質ペレットの原料となる丸太を安定的に確保するために地元森林組合や所有者との連携役を務めるとともに、MMR と南三陸町の連絡・調整、また木質ペレットを燃料とする暖房用ボイラの販路開拓も担当。将来的には町内にペレット製造工場を建設し、「震災からの復興と地域におけるエネルギーの自給自足モデルを確立し、同様の悩みを抱える地域に“横展開”できれば」と、奮闘中【産経新聞：2019/09/11】

<https://www.sankei.com/life/news/190911/lif1909110001-n1.html>

■（株）レノバ（東京）、9 月 13 日付で宮城県環境影響評価条例に基づき、「（仮称）石巻港バイオマス発電事業環境影響評価書」、及びこれを要約した「要約書」を宮城県に提出。同日から 10 月 15 日まで、評価書及び要約書の縦覧を実施中。本事業の実施区域は宮城県石巻市潮見町。出力規模は 74,950kW で、海外から大型のバルク船で輸送する木質燃料（木質ペレット、PKS 及び木質チップ）を石巻港（雲雀野中央埠頭、雲雀野北埠頭）で荷揚げし、燃料として使用する。本事業で発電した電気は、全量を FIT により東北電力に売電する計画【（株）レノバ：2019/09/13】

https://www.renovainc.com/ishinomakikou_biomass_EIA_hyoka_20190913.html

■（株）東京エネシス（東京）、鳥取県境港市で 100% 出資子会社の合同会社境港エネルギーパワー（東京）を通じて木質バイオマス発電所の建設、運営を行うことを決定したと発表（9 月 19 日）。発電所の名称は「境港バイオマス発電所（仮称）」。発電所の敷地面積は約 2 万 6,000 m²、定格出力は 2 万 4,300kW、年間送電電力量は約 1 億 6,632 万 kWh で、約 5 万 5,000 世帯分の年間電気消費量に相当する。原料は PKS、パルク材、木質ペレット。建設費用は約 120 億円、2022 年度内に営業開始予定【（株）東京エネシス：2019/09/19】

3. イベント情報（国内）

◎：木質ペレット燃料、ストーブ、ボイラの関連イベント

■国際環境 NGO FoE Japan、他「緊急セミナー：温暖化対策効果のあるバイオマス発電に向けて 固定価格買取制度（FIT）への提言」

2019年10月1日（火）

参議院議員会館 B107（東京都千代田区）

<http://foejapan.org/forest/biofuel/191001.html>

■地域創生に資する森林資源・木材の需要拡大に向けた研究開発プラットフォーム、他 合同ワークショップ「地域の木材流通の川上と川下をつなぐシステム・イノベーション」

2019年10月1日（火）

東京大学農学生命科学研究科中島ホール（東京都文京区）

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/event/2019/20191001workshop/index.html>

◎（一社）日本木工機械工業会「日本木工機械展/ウッドエコテック 2019」

2019年10月3日（木）～6日（日）

ポートメッセなごや「名古屋市国際展示場」（愛知県名古屋市）

<https://mokkiten.com/>

■（一社）日本木工機械工業会「ウッドワンダーランド 2019」

2019年10月3日（木）～6日（日）

ポートメッセなごや・名古屋市国際展示場（愛知県名古屋市）

<https://www.zenkokutategu.com/info/%E3%82%A6%E3%83%83%E3%83%89%E3%83%AF%E3%83%B3%E3%83%80%E3%83%BC%E3%83%A9%E3%83%B3%E3%83%892019%E3%81%8C10%E6%9C%88%E6%93%E6%97%A5%E6%97%BD%9E%E6%96%E6%97%A5%E5%90%8D%E5%8F%A4%E5%B1%8B%E3%81%A7/>

■NPO 法人木育フォーラム「木育森育近畿フォーラム 2019 in 京都」

2019年10月4日（金）～5日（土）

・10/4（エクスカージョン）：京丹波町、他

・10/5（フォーラム）：京都聖母女学院藤森キャンパス旧短期大学跡4階（京都府京都市）

http://mokuiku.org/kinki_forum2019/

■NPO 法人農都会議「東北大震災復興支援勉強会 再エネ水素活用で脱炭素社会へ大転換 ～低炭素水素サプライチェーンの構築に向けた技術開発～」

2019年10月5日（土）

港区商工会館2階研修室（東京都港区）

<http://blog.canpan.info/bioenergy/archive/275>

■静岡県掛川市森の講演会「これからどーする！？私の森林（やま）、掛川の森林（もり）」

2019年10月5日（土）

掛川市倉真地域生涯学習センター（静岡県掛川市）

<http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/life/gakusyubunka/kouza/morinokouennkai.html>

■東京都、他「第39回『木と暮らしのふれあい展』」

2019年10月5日（土）～6日（日）

都立木場公園イベント広場（東京都江東区）

http://zaisho.sakura.ne.jp/html/ev_1.html

◎長野県佐久市第52回『ぞっこん！さく市』

2019年10月5日（土）～6日（日）

駒場公園（長野県佐久市）

<https://www.bestplanning-bs.com/blogs/8795/>

■（公財）京都市森林文化協会「京都御苑で感じる木と森の

いのちと人のくらし 木育フェスタ」

2019年10月6日(日)

京都御苑(京都府京都市上京区)

https://dobanzy.com/blog_photo/02/gosyomokuiku2019.pdf

■福島県「第2回ふくしま植樹祭～ABMORI～」

2019年10月6日(日)

ふくしま県民の森フォレストパークあだたら(福島県安達郡大玉村)

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055d/2syokuzusai.html>

■矢板市林業・木材産業成長化推進協議会「第1回林業の成長産業化に向けたシンポジウム～トヨタの『改善』に学ぶ、人が成長する組織づくり～」

2019年10月7日(月)

矢板市文化会館小ホール(栃木県矢板市)

<https://www.forestmediaworks.co/symposium>

■NEDO、駐日デンマーク大使館「NEDO/デンマークエネルギーセミナー2019「再エネ大量導入時代のエネルギーシステムーデンマークの経験を基に系統運用、熱利用、VPP/V2Gの未来を考えるー」

2019年10月8日(火)

NEDO分室(東京都千代田区)

https://www.nedo.go.jp/events/AT52_100039.html

■日本環境ジャーナリストの会(JFEJ)環境ジャーナリスト講座2019「Youth環境アクティビストのメディアコミュニケーションと気候変動アクション」

2019年10月9日(水)

地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)(東京都渋谷区)

<http://jfej.org/info/10-9-11->

[17e3%80%80e7%92%b0e5%a2%83e3%82%b8e3%83a3%3%83bc%e3%838a%e3%83aa%e3%82%b9e3%8388e8%ac%9b%e5%ba%a72019%e3%80%8c%e3%82%b8e3%83a3%e3%83%bc%e3%838a%e3%83aa%e3%82%b9e3%8388/](http://jfej.org/info/10-9-11-17e3%80%80e7%92%b0e5%a2%83e3%82%b8e3%83a3%3%83bc%e3%838a%e3%83aa%e3%82%b9e3%8388e8%ac%9b%e5%ba%a72019%e3%80%8c%e3%82%b8e3%83a3%e3%83%bc%e3%838a%e3%83aa%e3%82%b9e3%8388/)

■BioJapan 組織委員会「BioJapan 2019」

2019年10月9日(水)～11日(金)

パシフィコ横浜(神奈川県)

<https://www.ics-expo.jp/biojapan/ja/>

■国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 平成31年度(前期)森林講座「放射能に汚染されたシイタケ原木林の利用再開に向けて」

2019年10月11日(金)

森林総合研究所多摩森林科学園(東京都八王子市)

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/news/2019/20190306shinrinkouza/index.html>

■南信州自然エネルギー普及協議会講演会「気候変動リスクと『卒炭素』への道」

2019年10月12日(月)

飯田市竜丘公民館(長野県飯田市)

<http://www.shin-ene.net/information/4779>

◎薪ストーブのお店 KAGURA 勉強会「ペレットストーブを学ぼう」

2019年10月13日(日)

薪ストーブのお店「KAGURA」KJWORKS(内)(大阪府箕面市)

<https://www.maki-stove.osaka.jp/pellet-event/>

■認定NPO法人環境パートナーシップいわて「バイオマスパワーセミナーVol.3<固体:木質の全般利用など>」

2019年10月15日(火)

アイーナ501会議室(岩手県盛岡市)

<https://wbiwate.jimdo.com/%E3%82%A4%E3%83%99%E3%83%B3%E3%83%88%E6%83%85%E5%A0%B1/>

■新宿区立環境学習情報センター 事業者向け省エネセミナー「迫りくる『脱炭素社会』にどう対応するか」

2019年10月15日(火)

新宿区立環境学習情報センター2階研修室(東京都新宿区)

<https://www.shinjuku-ecocenter.jp/event/1476/>

■日本環境ジャーナリストの会(JFEJ)環境ジャーナリスト講座2019「IPCC2つの特別報告書を読み解く」

2019年10月16日(水)

地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）（東京都渋谷区）
<http://jfej.org/info/10-9-11-17e3%80%80e7%92%b0e5a2%83e3%82%b8e3%83a3e3%83bc%e3%83%8ae3%83aa%e3%82%b9e3%8388e8ac%9b%e5%baa72019e3%80%8ce3%82%b8e3%83a3e3%83%bc%e3%83%8ae3%83aa%e3%82%b9e3%8388/>

■びわ湖環境ビジネスメッセ実行委員会「びわ湖環境ビジネスメッセ 2019」
2019年10月16日（水）～10月18日（金）
長浜バイオ大学ドーム（滋賀県長浜市）
<http://www.biwako-messe.com/>

■（国研）森林研究・整備機構森林総合研究所「令和元年度森林総合研究所 公開講演会『山づくりのために木造建築ができること』」
2019年10月17日（木）
学術総合センター 一橋大学一橋講堂（東京都千代田区）
<http://www.ffpri.affrc.go.jp/event/2019/20191017ffprilec/index.html>

■NEDO「2019年度NEDO新エネルギー成果報告会」
2019年10月17日（木）～18日（金）
※「バイオマス分野」は17日のみ。
パシフィコ横浜アネックスホール（神奈川県横浜市）
https://www.nedo.go.jp/events/FF_100122.html

■（一財）林業経済研究所「第56回研究会Box：森林管理の国際化と欧州・日本の対応—PEFC森林認証をめぐる組織と制度形成」
2019年10月18日（金）
筑波大学東京キャンパス文京校舎1階120講義室（東京都文京区）
http://www.jfes.org/kenkyukai/56th_box_20191018.html

■福島県「第44回福島県林業祭」
2019年10月19日（土）
福島県林業研究センター（福島県郡山市）、他
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/ringyosai/>

◎（株）サンコー「とやまペレットストーブまつり」
2019年10月20日（日）
（株）サンコー常設展示場及び特設展示場（富山県富山市）
<https://sancoh.toyama.jp/inf.html#f2>

◎山梨県林業まつり実行委員会「森林のフェスティバル」
2019年10月20日（日）～21日（月）
小瀬スポーツ公園（山梨県甲府市）
<https://www.yamanashi-kankou.jp/kankou/event/tokusanhin-fair.html>
<http://yamanashiwbc.blogspot.com/2019/06/blog-post.html>

■第10回食用菌根性きのこに関する国際ワークショップ実行委員会「第10回食用菌根性きのこに関する国際ワークショップ（IWEMM10）」
2019年10月20日（日）～25日（金）
RAKO華乃井ホテル、他（長野県諏訪市）
https://www.jsmsb.jp/blogs/blog_entries/view/100/1ef124ebc4621b88b6b8166b2a974c85?frame_id=118

■林野庁国際シンポジウム「SDGs達成に向けた森林の貢献：森林情報の活用と基準・指標」
2019年10月21日（月）
熊本市国際交流会館（熊本県熊本市）
<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kaigai/190925.html>

■日本環境ジャーナリストの会（JFEJ）環境ジャーナリスト講座2019「激動の日本の再生可能エネルギー最新事情がわかる」
2019年10月23日（水）
地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）（東京都渋谷区）
<http://jfej.org/info/10-9-11-17e3%80%80e7%92%b0e5a2%83e3%82%b8e3%83a3e3%83bc%e3%83%8ae3%83aa%e3%82%b9e3%8388e8ac%9b%e5%baa72019e3%80%8ce3%82%b8e3%83a3e3%83%bc%e3%83%8ae3%83aa%e3%82%b9e3%8388/>

■（特非）日本環境倶楽部環境セミナー「『JAXAの地球環境観測の貢献と今後』～宇宙から地球環境を見守る～」
2019年10月24日（木）

(株) NTT データエグゼクティブセミナー（東京都江東区）

<https://www.kankyoclub.or.jp/event/1910-1.html>

◎（一社）日本木質ペレット協会「木質ペレット普及促進に向けた研修会」

2019年10月24日（木）～25日（金）※25日は現地視察
内子自治センター（愛媛県喜多郡内子町）

<https://w-pellet.org/category/news/>

■環境省「民間企業のための気候変動適応ガイド活用セミナー」

2019年10月25日（金）

主婦会館プラザエフ9階スズラン（東京都千代田区）

<https://www.env.go.jp/press/107203.html>

■高知県立林業大学校長 隈研吾講演会

2019年10月28日（月）

高知県立美術館ホール（高知県高知市）

<https://kochi-forestry.ac.jp/%e9%ab%98%e7%9f%a5%e7%9c%8c%e7%ab%8b%e6%9e%97%e6%a5%ad%e5%a4%a7%e5%ad%a6%e6%a0%a1-%e6%a0%a1%e9%95%b7-%e9%9a%88%e7%a0%94%e5%90%be%e8%ac%9b%e6%bc%94%e4%bc%9a%e3%81%ae%e3%81%94%e6%a1%88%e5%86%85/>

■NEDO「第10回日独エネルギー・環境フォーラム」

2019年10月29日（火）～30日（水）

WTC コンファレンスセンター（東京都港区）

https://www.nedo.go.jp/events/AT09_100066.html

■MS&AD インターリスク総研（株）「【気候変動ワークショップ2019】気候変動インパクトを把握する～TCFD時代の気候対策～」

2019年10月29日（火）～30日（水）

TKP ガーデンシティ御茶ノ水カンファレンスルーム B1（東京都千代田区）

<http://www.eic.or.jp/event/?act=view&serial=37458>

■（公財）福島県産業振興センター「第8回ふくしま再生可

能エネルギー産業フェア」

2019年10月30日（水）～31日（木）

ビックパレットふくしま（福島県郡山市）

<http://reif-fukushima.jp/>

■第11回市民・地域共同発電所全国フォーラム in 岡山実行委員会「第11回市民・地域共同発電所全国フォーラム in 岡山～自然エネルギーで地域を豊かに、しなやかに～」

2019年11月1日（金）～3日（日）

オルガホール（岡山県岡山市）

<http://www.shin-ene.net/information/4773>

■学校の森・子どもサミット実行委員会「学校の森・子どもサミット」

2019年11月2日（土）

伊那市立伊那西小学校（長野県伊那市）

http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/sanson_ryokka/190925.html

■岐阜県大野町「おおの木育フェア2019」

2019年11月3日（日）

大野町運動公園および散策道（岐阜県揖斐郡大野町）

<https://www.gifu-np.co.jp/feature/info/20190917-173924.html>

■中部化学関係学協会支部連合協議会

・「第50回 中部化学関係学協会支部連合秋季大会（松本）」

2019年11月9日（土）～10日（日）

・研究会「バイオマスのエネルギー利用の現状と未来」

2019年11月9日（土）

信州大学松本キャンパス（長野県松本市）

<http://www.c-goudou.org/chukaren50/>

◎（一社）日本能率協会「Japan Home & Building Show 2019 内、第41回ジャパンホームショー」

2019年11月13日（水）～15日（金）

東京ビッグサイト 西1・2・3・4ホール（東京都江東区）

<https://www.jma.or.jp/homeshow/>

■国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所「森

林講座 樹木のタネの成り年の不思議」

2019年11月15日(金)

森林総合研究所多摩森林科学園森の科学館2階(東京都八王子市)

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/event/2019/20191115tamalec/index.html>

■NPO 法人農都会議官民交流勉強会第4回「地域型バイオマス設備の普及へ向けた課題と解決法～分散型エネルギー実現へ、サプライサイドへの働きかけを共に考える～」

2019年11月18日(月)

港区神明いきいきプラザ4階集会室A(東京都港区)

<http://blog.canpan.info/bioenergy/archive/283>

■(一社)日本能率協会「バイオマスエキスポ2019 秋『バイオマスエネルギーが導く田園からの産業革命』」

2019年11月20日(水)～22日(金)

東京ビッグサイト西3.4ホール(東京都江東区)

<https://www.biomassexpo.info/>

■林野庁「福島の森林・林業再生に向けたシンポジウム～遊ぼう!学ぼう!福島の森と木の親子体験教室～」

2019年12月1日(日)

ビッグパレットふくしま中会議室(3階)(福島県郡山市)

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kaihatu/190920.html>

■日本経済新聞社、他「第1回環境・再エネ・レジリエンス展気候変動・災害対策Biz2019」

2019年12月4日(水)～6日(金)

東京ビッグサイト[南1・2ホール](東京都江東区)

<https://messe.nikkei.co.jp/cc/>

■日本経済新聞社文化事業局イベント事業部「エコプロ2019」

2019年12月5日(木)～7日(土)

東京ビッグサイト西・南ホール(東京都江東区)

<http://eco-pro.com/2018/outline/001304.html>

■(公社)国土緑化推進機構「森林からはじまるエコライフ展2019」～森と木で拓くSDGsの提案～

2019年12月5日(木)～7日(土)

東京ビッグサイト西・南ホール「エコプロ2019」会場内(東京都江東区)

http://eco-pro.com/eco2019/pdf/forest_exhibition_guidance_2019.pdf

■(一社)林業機械化協会「2019森林・林業・環境機械展示実演会」

2019年12月14日(土)～15日(日)

奥武山公園補助競技場(沖縄県那覇市)

<https://www.rinkikyo.or.jp/>

■林野庁「福島の森林・林業再生に向けたシンポジウム～遊ぼう!学ぼう!福島の森と木の親子体験教室～」

2019年12月21日(土)

品川シーズンテラス カンファレンスタワー棟(3階)(東京都港区)

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kaihatu/190920.html>

■(一財)省エネルギーセンター、他「ENEX2020 第44回地球環境とエネルギーの調和展」

2020年1月29日(水)～31日(金)

東京ビッグサイト南1・2ホール(東京都江東区)

<https://www.low-cf.jp/east/>

■グリーンイメージ国際環境映像祭実行委員会「第7回グリーンイメージ国際環境映像祭」

2020年2月21日(金)～23日(日)

日比谷図書文化館コンベンションホール(東京都千代田区)

<https://green-image.jp/filmfestival/entry/7th/>

◎リードエグジビションジャパン「第5回[国際]バイオマス展(スマートエネルギーWeek2020内)」【東京展】

2020年2月26日(水)～28日(金)

東京ビッグサイト(東京都江東区)

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

■日本木材学会「第70回日本木材学会大会」

2020年3月16日(月)～18日(水)

鳥取大学共通教育棟・とりぎん文化会館(鳥取県鳥取市)

<http://www.jwrs.org/meeting/>

■（一社）日本森林学会「第131回日本森林学会大会」

2020年3月27日（金）～30日（月）

名古屋大学東山キャンパス（愛知県名古屋市）

<https://www.forestry.jp/>

■ISAP2020 日本開催組織委員会「国際応用藻類学会第7回大会（ISAP2020）」

2020年4月20日（月）～24日（金）

幕張メッセ（千葉県千葉市）

<http://v4.eir->

[parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=1627880](http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=1627880)

■日報ビジネス（株）「2020 NEW 環境展」「2020 地球温暖化防止展」

2020年4月22日（水）～24日（金）

インテックス大阪（大阪府）

<http://www2.nippo.co.jp/stop-ondanka18/>

◎CMT「11th Biomass Pellets Trade & Power」

2020年5月

東京

<https://www.cmtevents.com/main.aspx>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek 内バイオマス展」【関西展】

2020年9月9日（水）～11日（金）

インテックス大阪（大阪府大阪市）

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek 内バイオマス展」【東京展】

2021年3月3日（水）～5日（金）

東京ビッグサイト（東京都江東区）

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

■日報ビジネス（株）「2021 NEW 環境展」「2021 地球温暖化防止展」

2021年5月

東京ビッグサイト（東京都江東区）

<https://www.nippo.co.jp/n-expo019/index.htm>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek 内バイオマス展」【関西展】

2021年9月29日（水）～10月1日（金）

インテックス大阪（大阪府大阪市）

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

4. イベント情報（海外）

■EFE 2019 - 3rd Trade Fair for Energy Efficiency in Industry

2019年10月2日（水）～3日（木）

クラクフ（ポーランド）

<http://www.efe.krakow.pl/gb/>

◎USIPA 2019 Exporting Pellets Conference

2019年10月6日（日）～8日（火）

フロリダ州マイアミビーチ（USA）

<https://theusipa.org/2019-conference>

■Austrofoma 2019

2019年10月8日（火）～10日（木）

エステルハーザー・フォルヒテンシュタイン（オーストリア）

<http://www.austrofoma.at/en/allgemeine-infos.html>

■The 11th PALMEX Indonesia 2019

2019年10月8日（火）～10日（木）

北スマトラ州（インドネシア）

<http://www.palmoilexpo.com/conference-schedule.html>

■Argus Biofuels

2019年10月8日（火）～11日（金）

ロンドン（UK）

<https://www.argusmedia.com/ja/conferences-events->

[listing/biofuels](#)

■14th Carbon Dioxide Utilisation Summit

2019年10月9日(水)～10日(木)

デュッセルドルフ(ドイツ)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/co2/>

■IGEM 2019 - International Greentech & Eco Products Exhibition & Conference Malaysia

2019年10月9日(水)～10月11日(金)

クアラルンプール(マレーシア)

<http://www.igem.my>

■Progress in Biomethane Mobility

2019年10月15日(火)～17日(木)

シュヴェービッシュ・ハル(ドイツ)

<http://www.ibbk-biogas.de/en-gb/conference-biomethane-mobility-oct2019>

■NAEE 2019 - Nigeria Alternative Energy Expo

2019年10月15日(火)～10月17日(木)

アブジャ(ナイジェリア)

<http://www.nigeriaalternativeenergyexpo.org/>

■Argus Biofuels & Carbon Markets Summit

2019年10月21日(月)～23日(水)

カリフォルニア州ナババレー(USA)

<https://www.argusmedia.com/ja/conferences-events-listing/biofuels-and-carbon-markets>

■International Biomass Congress & EXPO

2019年10月22日(火)～23日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

<http://www.bioenergy-news.com/conference/>

■International Biogas Congress & EXPO

2019年10月22日(火)～23日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

<http://www.bioenergy-news.com/conference/>

■biofuels international Conference & Expo

2019年10月22日(火)～23日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

<http://www.bioenergy-news.com/conference/>

■GLOBAL BIOFUELS SUMMIT

2019年10月22日(火)～23日(水)

シンガポール(シンガポール)

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=191022&>

■2019 ANNUAL THINK GLOBAL CONFERENCE

2019年10月22日(火)～23日(水)

イリノイ州シカゴ(USA)

<https://thinkglobalconference.org/>

■RENEXPO BIH International trade fair and conference for Renewables - Environmental protection - Water management - Energy efficiency

2019年10月23日(水)～24日(木)

サラエボ(ボスニア・ヘルツェゴビナ)

<http://www.renexpo-bih.com/en/conference/conference-program/>

■Argus Biomass Nordics and Baltics

2019年10月29日(火)～31日(木)

コペンハーゲン(デンマーク)

<https://www.argusmedia.com/ja/conferences-events-listing/biomass-nordics-baltics>

■23rd edition ECOMONDO The Green Technology Expo

2019年11月5日(火)～8日(金)

リミニ(イタリア)

<https://en.ecomondo.com/>

◎European Biomass to Power Conference

2019年11月6日(水)～7日(木)

ヘルシンキ(フィンランド)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/european-biomass-to-power/>

■5th Power & Energy Tanzania 2019

2019年11月7日(木)～11月9日(土)

ダルエスサラーム(タンザニア)

<https://www.expogr.com/tanzania/powerenergy/>

■Future of Biogas Europe 2019

2019年11月13日(水)～14日(木)

アムステルダム(オランダ)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/future-biogas-europe/>

■European Methanol Summit

2019年11月13日(水)～14日(木)

デュッセルドルフ(ドイツ)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/european-methanol-summit/>

■Shanghai International Exhibition on Heating Technology 2019

2019年11月25日(月)～27日(水)

上海(中華人民共和国)

<https://www.heatecchina.com/Heatec19/idx/eng/home>

■BIOGAS Asia Pacific Forum 2019

2019年11月26日(火)～27日(水)

ジャカルタ(インドネシア)

<http://www.icesn.com/>

■Asian Biomass to Power

2019年11月27日(水)～28日(木)

クアラルンプール(マレーシア)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/asian-biomass-to-power/>

■Energy from Waste

2019年12月3日(火)～4日(水)

ロンドン(UK)

https://www.smi-online.co.uk/utility/uk/energy-from-waste?utm_medium=www.efw-event.com&utm_source=E-090&utm_campaign=bioen

■ALGAEUROPE 2019

2019年12月3日(火)～5日(木)

パリ(フランス)

<https://algaeurope.org/>

■BIOGAS Convention & Trade Fair

2019年12月10日(火)～12日(木)

ニュルンベルク(ドイツ)

<https://www.biogas-convention.com/en/>

■FUELS OF THE FUTURE 17th International Conference on Renewable Mobility

2020年1月20日(月)～21日(火)

ベルリン(ドイツ)

<https://www.fuels-of-the-future.com/>

■REGEN EUROPE

2020年1月29日(水)～30日(木)

ナント(フランス)

https://public.message-business.com/emailing/25115/1385/r16azivyvmpvfjhjzagfbiigjjzyzsehhe/emailing.aspx?utm_campaign=Emailing+du+mar.+03%2f11%2f2015+%c3%a0+12%3a46%3a30&utm_content=Emailing+du+mar.+03%2f11%2f2015+%c3%a0+12%3a46%3a30&utm_medium=Emailing+via+Message+Business&utm_source=Message+Business

■BIOGAZ EUROPE

2020年1月29日(水)～30日(木)

ナント(フランス)

https://public.message-business.com/emailing/25115/1385/r16azivyvmpvfjhjzagfbiigjjzyzsehhe/emailing.aspx?utm_campaign=Emailing+du+mar.+03%2f11%2f2015+%c3%a0+12%3a46%3a30&utm_content=Emailing+du+mar.+03%2f11%2f2015+%c3%a0+12%3a46%3a30&utm_medium=Emailing+via+Message+Business&utm_source=Message+Business

■BOIS ENERGIE

2020年1月29日(水)～30日(木)

ナント(フランス)

https://public.message-business.com/ emailing/25115/1385/r16azizyvpmpvfjhjzagfbiigjjzyzsehhe/ emailing.aspx?utm_campaign=Emailing+du+mar.+03%2f11%2f2015+%c3%a0+12%3a46%3a30&utm_content=Emailing+du+mar.+03%2f11%2f2015+%c3%a0+12%3a46%3a30&utm_medium=Emailing+via+Message+Business&utm_source=Message+Business

◎5th Biomass Trade & Power Europe
2020年2月5日(水)～6日(木)
コペンハーゲン(デンマーク)

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=200202&>

◎European Pellet Conference 2020
2020年3月4日(水)～6日(金)
ヴェルス(オーストリア)

<http://www.wsed.at/en/world-sustainable-energy-days.html>

◎The WORLD SUSTAINABLE ENERGY DAYS 2020
2020年3月4日(水)～6日(金)
ヴェルス(オーストリア)

<http://www.wsed.at/en/world-sustainable-energy-days.html>

■POWERGEN INDONESIA 2020 -The 5th Indonesia International Industrial Power Generation & Renewable Energy Exhibition 2020
2020年3月26日(木)～27日(金)
ジャカルタ(インドネシア)

<https://www.powergen-exhibition.net/event-fact-sheet-jakarta>

◎Biomass Brno
2020年3月31日(火)～4月4日(土)
ブルノ(チェコ共和国)

<https://www.bvv.cz/en/biomass/>

■Energy Efficiency and Renewable Energy Exhibition & Conference
2020年4月7日(火)～9日(木)
ソフィア(ブルガリア)

<https://viaexpo.com/en/ee-re-exhibition>

■10th European Algae Industry Summit
2020年4月29日(水)～30日(木)
レイキャビク(アイスランド)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/european-algae-industry-summit/>

■POWERGEN INDIA
2020年5月5日(火)～7日(木)
ニューデリー(インド)

<https://www.powergen-india.com/>

■ALL-ENERGY Exhibition and Conference 2020
2020年5月13日(水)～14日(木)
グラスゴー(UK)

<https://www.all-energy.co.uk/>

■RENEXPO Energy Waste & Water Western Balkans
2020年5月13日(水)～14日(木)
ベオグラード(セルビア)

<http://renexpo-belgrade.com/en/home-en/>

■KWF Tagung 2020
2020年7月1日(水)～4日(土)
ヘッセン州シュヴァルツェンボルン(ドイツ)

<http://www.kwf-tagung.org/kwf-tagung.html>

■POLLUTEC
2020年12月1日(火)～4日(金)
リヨン(フランス)

<https://www.pollutec.com/en/home/>

■Elmia Wood
2021年6月2日(水)～5日(土)
ヨンショーピン(スウェーデン)

<https://www.elmia.se/wood/>

5. 2019 年度ペレットストーブ、ボイラ補助金情報

※締切や公募の条件等の詳細は各自治体にお問い合わせください。

◇：ストーブ

◆：ストーブ・ボイラ共

【茨城県】

◆大子町「薪ストーブ等設置費補助金」

<http://www.town.daigo.ibaraki.jp/page/page002843.html>

【長野県】

◆茅野市「茅野市木質バイオマス循環利用普及促進事業補助金」

<https://www.city.chino.lg.jp/soshiki/nourin/1546.html>

【熊本県】

◆高森町「高森町ペレットストーブ等設置費補助金」

<http://www.town.takamori.kumamoto.jp/chosha/seisaku/2019/04/post-79.html>

6. 公募等情報（締切順）

◇長野県「平成 31 年度地域主導型自然エネルギー創出支援事業」

・第三次募集 2019 年 9 月 5 日（木）～10 月 3 日（木）

<https://www.pref.nagano.lg.jp/ontai/tiikisyudou.html>

◇長野県「平成 31 年度自然エネルギー地域発電推進事業の募集について」

・第三次募集 2019 年 9 月 6 日（金）～10 月 7 日（月）

<https://www.pref.nagano.lg.jp/ontai/kurashi/ondanka/shizen/tiikihatuden-suishin.html>

◇NEDO「NEDO 再生可能エネルギー技術白書（第二版）の改訂に係る調査」に係る公募について

公募期間 2019 年 9 月 13 日（金）～10 月 7 日（月）

https://www.nedo.go.jp/koubo/FF2_100271.html

◇こくみん共済 coop「2019 年こくみん共済 coop 地域貢献助成事業」

募集期間 2019 年 9 月 20 日（金）～2019 年 10 月 10 日（木）

http://www.geoc.jp/rashinban/event_detail_37327.html

◇（公財）都市緑化機構「2019 年花王・みんなの森づくり活動助成」

募集期間 2019 年 8 月 1 日（木）～10 月 14 日（月・祝）

https://urbangreen.or.jp/grant/kao_minnanomori/guideline-kao

◇宮城県仙台市「低炭素型ボイラー転換補助金交付事業」

申請受付 2019 年 6 月 3 日（月）～10 月 31 日（木）

<http://www.city.sendai.jp/taiki/jigyosha/kankyo/hozen/kogaiboshi/tetanso.html>

◇損保ジャパン日本興亜環境財団「2019 年度環境保全プロジェクト助成」

募集期間 2019 年 9 月 2 日（月）～2019 年 10 月 31 日（木）

<https://www.sinkef.org/project/project.html>

◇栃木県「低炭素社会づくり促進事業費補助金」

申請受付期間 2019 年 6 月 3 日（月）～11 月 8 日（金）

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/kouhou/teitansosyakaidukurihojyo.html>

◇環境省「2019 年度（平成 31 年度）『二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業』の公募について」

募集期間 2019 年 4 月 5 日（金）～11 月 29 日（金）

<http://www.env.go.jp/press/106662.html>

◇宮城県「令和元年度木質バイオマス広域利用モデル形成事業について（2 次募集）」

募集期間 2019 年 8 月 20 日（火）～11 月 29 日（金）

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ringyo-sk/h31-biomass.html>

◇北海道「新エネルギー導入支援事業（設備導入支援）公募（追

加募集)を開始」

公募期間：2019年11月29日(金)まで

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/setsubidounyuu.htm>

◇北海道「新エネルギー設計支援事業公募(追加募集)を開始」

公募期間：2019年11月29日(金)まで

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/sekkeishien.htm>

◇北海道「令和元年度(2019年度)地域資源活用基盤整備支援事業費補助金」

公募期限：令和元年(2019年)11月29日(金)まで

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/kiban.htm>

◇埼玉県「【令和元年度】埼玉県分散型エネルギー利活用設備整備費補助金」

公募期間 2019年5月27日(月)～12月20日(金)

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0503/bunnsanngata-hozyo.html>

◇広島県「令和元年度広島県省エネ設備導入促進補助金の公募のお知らせ」

受付期間 ～2019年12月27日(金)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/eco/31setubihojokin.html>

◇(一社)京都知恵産業創造の森「再生可能エネルギー設備等導入補助事業補助金」

申請受付期間 2019年4月22日(月)～2020年1月31日(金)

<http://www.kyoto-eco.jp/support/y2019/saiene.html>

◇鳥取県「鳥取県再生可能エネルギー活用事業可能性調査支援補助金」

募集期間 2019年4月1日(月)～2020年2月28日(金)

<https://www.pref.tottori.lg.jp/195435.htm>

◇神奈川県小田原市「市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金(土地)」

申請書提出期限 2020年2月28日(金)

<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/envi/energy/citizen-participation/shoureikin-setubi-t.html>

◇神奈川県小田原市「市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金(認定設備)」

申請書提出期限 2020年2月28日(金)

<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/envi/energy/citizen-participation/shoureikin-setubi.html>

◇神奈川県小田原市「市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金(土地)」

申請書提出期限 2020年2月28日(金)

<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/envi/energy/citizen-participation/shoureikin-setubi-t.html>

◇神奈川県小田原市「小田原市再生可能エネルギー事業奨励金」

申請書提出期限 2020年2月28日(金)

<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/envi/energy/bounty/Incentivefee.html>

◇京都市「再生可能エネルギー導入支援事業における支援希望団体の募集について」

募集期間 2019年5月15日(水)～2020年2月28日(金)

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000251360.html>

◇浜松市「浜松市木質バイオマス設備導入支援事業費補助金」

申請受付期間 2019年7月5日(金)～2020年2月28日(金)

https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/shin-ene/new_ene/mokushitsuhojokin.html

◇兵庫県宍粟市「木質バイオマス燃料製造設備補助金」

受付期間 2019年4月1日(月)～2020年3月16日(月)

<https://www.city.shiso.lg.jp/kurashi/gomishinyokankyo/kankyori-saikuru/1515747829708.html>

◇林野庁「省エネ再エネ高度化投資促進税制」

適用期間 2018年4月1日～2020年3月31日

<https://www.jwba.or.jp/%E6%96%B0%E8%A6%8F%E3%83%9A%E3%83%BC%E3%82%B8-1/%E7%9C%81%E3%82%A8%E3%83%8D%E5%86%8D%E3%82%A8%E3%83%8D%E9%AB%98%E5%BA%A6%E5%8C%96%E4%BF%83%E9%80%B2%E7%A8%8E%E5%88%B6/>

◇京都府「自立型再生可能エネルギー導入等計画の認定及び導入支援制度」

計画認定申請期間 2015年10月1日(木)～2021年3月31日(水)

<http://www.pref.kyoto.jp/energy/documents/ninteiseidogaiyou.pdf>

◇東京都「東京都区市町村との連携による地域環境力活性化事業」

事業期間 2014年度～2023年度

http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/policy_others/municipal_support/current.html

◇高知県「高知県木質資源利用促進事業費補助金」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030501/2019022200068.html>

◇高知県「再生可能エネルギー利活用事業費補助金」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/610301/2015060100117.html>

◇高知県香南市「香南市燃料タンク対策事業費補助金」

http://www.city.kochi-konan.lg.jp/reiki_int/reiki_honbun/r254RG00001291.html

◇高知県仁淀川町「仁淀川町再生可能エネルギー利活用事業費補助金」

http://www.town.niyodogawa.lg.jp/reiki/reiki_honbun/r191RG0000129.html#e000000030

◇栃木県「栃木県環境保全資金(省エネ設備等の導入)」

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/eco/kankyou/ondanka/syouene-setubi-yuusi.html>

※融資制度

◇徳島県「自然エネルギー立県とくしま推進資金貸付制度」

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kurashi/shizen/5007685/>

※融資制度

◇奈良県「新エネルギー等対策資金」

<http://www.pref.nara.jp/23346.htm>

※融資制度

◇(公財)日本環境協会「2019年度(平成31年度)環境配慮型融資促進利子補給事業」

https://www.jeas.or.jp/activ/prom_23_00.html

※融資制度

◇横浜市「よこはまプラス資金(環境・エネルギー対策)」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koen-gesui/plus/taisyou.html>

※融資制度

◇千葉県「環境保全資金(制度全般事業認定)」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/chikyukankyou/ne/shien-jigyousha.html>

◇千葉縣市原市「市原市企業立地促進条例」

<http://www.city.ichihara.chiba.jp/kanko/0205sangyou/kigyourittigaido.html>

◇千葉県南房総市「南房総市施設園芸用木質バイオマス暖房機設置費等補助金」

<http://www.city.minamiboso.chiba.jp/0000007149.html>

◇高知県仁淀川町「仁淀川町再生可能エネルギー利活用事業費補助金」

http://www.town.niyodogawa.lg.jp/reiki/reiki_honbun/r191RG0000129.html

◇NEDO「バイオジェット燃料生産技術開発事業/技術動向調査/バイオジェット燃料生産に係るバイオマス供給可能性に関する調査」に係る公募について(予告)

公募期間 2019年9月下旬～2019年10月上旬の予定

https://www.nedo.go.jp/koubo/FF1_100272.html